NEWS RELEASE

２０２６ 年 １０ 月 ３０ 日

浜松市中央区佐鳴台４丁目16-10
株 式 会 社 遠 鉄 ス ト ア
浜 松 市 中 央 区 佐 浜 町 ２８９４
株 式 会 社 青 空 農 園

各位

遠鉄ストア×青空農園　はままつ循環経済フォーラムに登壇
～食品残渣から生まれた堆肥で地元野菜を育てる「食品リサイクルループ」を発表～

株式会社遠鉄ストア（本社：浜松市中央区佐鳴台、代表取締役社長：宮田洋）と株式会社青空農園（本社：浜松市中央区佐浜町、代表取締役：大西辰幸）は、2026 年 11 月 11 日（水）に浜松市が開催する「はままつ循環経済フォーラム」に共同で登壇し、両社が取り組む食品リサイクルループについて発表いたします。

本取り組みは、遠鉄ストアの商品製造過程で発生する食品残渣を堆肥に再生し、その堆肥を使って青空農園が育てた野菜を遠鉄ストアの店頭で販売するものです。両社は浜松市の「はままつ循環経済パートナーズ（HAMACEP）」の会員で、2025 年 1 月には「浜松市 3R 推進優良事業者表彰」を受賞しています。

記

1．ポイント

（1）食品残渣から野菜の販売まで、全工程を浜松市内で完結

遠鉄ストアのプロセスセンター（浜名区高薗）で発生した食品残渣を発酵分解し、リサイクルセンターで堆肥化します。青空農園（中央区佐浜町）がこの堆肥を使って野菜を育てています。遠鉄ストアでは 2024 年 4 月から青空農園の野菜を販売しており、現在は 7 店舗で取り扱っています。うち笠井店・袋井久能店には、2025 年 6 月から専用売場「青空旬市場」を設けています。

（2）食品残渣の重量を約 90%削減

2021 年 10 月にプロセスセンターへ食品残渣発酵分解装置を導入し、2022 年度からの 4 年間で累計約 686 トンの食品残渣を処理しました。2025 年度は、処理した食品残渣の重量を約 90%削減しています。

（3）農家の生産コスト削減と、付加価値の高い農産物づくり

再生堆肥を使った有機肥料は一般的な化学肥料より安価で、肥料コストを 10～50%削減できます。また、化学肥料を減らして育てた野菜として、付加価値を付けて販売できます。

2. はままつ循環経済フォーラムの概要

名称	はままつ循環経済フォーラム
日時	2026 年 11 月 11 日（水） 14：00～16：00（開場 13：30）
会場	浜北文化センター 3 階 大会議室
主催	浜松市
内容	第 1 部 基調講演 第 2 部 取り組み事例（4 事業者）
発表テーマ	小売業×農業による、商品製造過程で発生する食品残渣のリサイクルループ
登壇者	株式会社遠鉄ストア 株式会社青空農園
対象	循環経済における取り組みを行っている、またはこれから行いたい事業者等
定員・参加費	150 名・無料（事前申込制）

3. 食品リサイクルループの概要



4. 株式会社青空農園について

所在地	〒431-1114 浜松市中央区佐浜町 2894
代表者	代表取締役 大西 辰幸
事業内容	農産物・農業資材の仕入れと販売、保管・運搬管理
特徴	約 100 グループの農家と連携し、生産から販売までを一括で担う

以上

****

この件に関する問い合わせ先

株式会社遠鉄ストア 経営企画部
株式会社青空農園